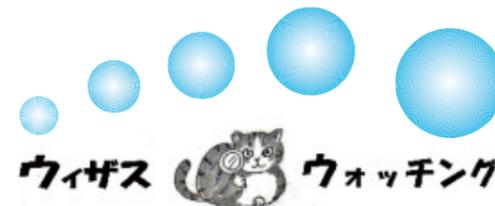


「ウィザス」は、ウィズアス=with us “共に生きる—男女共生社会”の理念を表しています。

特集

備える

ウィザス



防災・減災・復興に「男女共同参画の視点」での見直しを

平成27年版防災白書には、今年3月、仙台市で「第3回国連防災世界会議」が開催され、主要テーマの1つに「防災における女性のリーダーシップ発揮」が取り上げられたことが報告されています。

会議の冒頭、安倍総理大臣は基調講演を行い、「東日本大震災発生時における女性のリーダーシップ、避難者へのケアやコミュニティの再生等における女性の役割、平常時における女性の参画」等を訴え各国からの賛同を得たこと、また『仙台防災協力イニシアティブ』の主要プロジェクトとして『防災における女性のリーダーシップ推進研修』を開始すると発表したことが紹介されています。

東日本大震災後、防災に関する政策・方針決定過程等で

の女性の参画拡大や、男女のニーズの違い等に配慮した取り組みが必要だと、一層認識されるようになりました。

その一方で、全国の地方防災会議での女性委員は、依然として低い割合にとどまっています。

平成26年4月現在、都道府県の防災会議に占める女性委員の割合は12.1%、市町村では7.1%(芦屋市6.5%・2人)です。また市町村において女性委員がない防災会議は31.9%、特に町村の半数以上の防災会議に女性委員がない結果となっています。

このような現状を踏まえ、今後は防災・減災・復興のそれぞれのステージで、「男女共同参画の視点」で見直すという取り組みが、ますます重要課題となってきました。



ワーク・ライフ・バランス

定期的に備蓄品の点検を! A.S



防災講座「男女共同参画の視点で見直そう『わが家の防災・減災プラン』」

- 日時 9月12日・19日・10月3日(土) <午前10時~11時30分>
- 会場 男女共同参画センター セミナー室
- 内容 芦屋市の防災計画/減災対策のススメ/男女共同参画の視点で見直そう『わが家の防災・減災プラン』
- 対象 3回とも出席できるかた・先着30人
- 一時保育 2歳以上就学前児・各回とも先着4人(1人300円) <要予約>
- 申し込み はがき・電話・ファクス・メールで下記へ

女性に対する暴力を防止しましょう!

◆暴力のない社会の実現に向けて—

暴力は、相手を支配しようとして、社会的に力(立場)の強い者から弱い者へと起こりやすいものです。自分にはそのつもりがなくても、相手に脅威を与えている場合があります。DVやセクシュアル・ハラスメントなどは、私的な場所でも起こりやすく、周囲の人にとっては「見えにくい」という特徴があります。

また、暴力は身体的だけでなく、相手に無力感を与えるなど精神的なものもあり、被害者の生活を崩壊させてしまうこともあります。

このように、暴力の根底には相手への軽視や相手を従属的に捉えている意識があります。暴力を許さない社会の実現は、すべての人が安全で安心して暮らしていくための基本的な権利でもあるのです。

一時保育つき大人の読書タイム

- 子育て中の皆さん、毎月第3月曜日(午前)・火曜日(午前・午後)の2時間、ゆっくりとお好きな本を読んでみませんか? あなたの読書中、お子さんはウィザスあしやの保育室でお預かりします。
- 日時 【月曜日】9月28日・10月19日・11月16日 <午前10時~正午>
 - 【火曜日】9月15日・10月20日・11月17日 <午前10時~正午または午後1時~3時>
 - ※月曜日・火曜日とも先着各4人(2歳未満児の同伴不可)
 - 会場 男女共同参画センター ウィザスあしや
 - 対象 子育て中の親(祖父母を含む)と子ども(2歳以上就学前児)
 - 一時保育 各回とも、先着各4人(1人300円) <要予約>
 - 申し込み 各月1日から、電話(Tel.38-2023)でセンターへ

編集後記

編集会議に参加させていただいて約1年。初めは、男女共同参画?男女平等社会ってこと?男性に勝つってこと?などと勝手な解釈が膨らみ、私にとっては地球の裏側のような感覚で、少々アレルギ-反応を起こした記憶があります。それから毎月の編集会議に参加させていただき、こうやって特面が作られていくのか...と感動さえております。今はカットのみの参加ですが、少しでも会場で発言できるよう勉強していきたいです。(水木)

秘密厳守 女性相談 面接相談

無料相談・予約専用電話 Tel.38-2022

~ご相談には、予約が必要です~

- 日程 ①第1土曜日 ②第1~4金曜日
- 時間 ①午前10時~正午(1人50分)
- ②午前11時~午後4時(1人50分)
- 内容 心の悩み相談・家事調定相談 ※一時保育(無料) <要予約>
- 【法律相談】9月12日(土)・10月7日(水)・11月14日(土) ■午後2時~4時(1人30分) <要予約>

ウィザス No.82 ■平成27年9月発行(秋号)

編集・発行 芦屋市男女共同参画センター ウィザスあしや

〒659-0065 芦屋市公光町5-8(公光分庁舎・北館1階)
TEL.0797-38-2023 / FAX.0797-38-2175
Eメール josei-ce@city.ashiya.lg.jp

- 開館: 月曜日~土曜日・午前9時~午後5時30分
- 休館: 日曜日・祝日・年末年始(12月28日~1月4日)

ホームページ <http://www.city.ashiya.lg.jp/danjo/wiwithus/centerwithus.html>

特集 備える



近い将来、南海トラフ巨大地震が発生するといわれています。

また阪神・淡路大震災や東日本大震災を体験した私たちには、その経験を次の教訓として生かすべきだと思うことがたくさんあります。

もし明日、未曾有の災害が起きるとしたら…。今できること、備えておくことなど、これまでの経験を踏まえて再点検してみましょう！

震災体験を《教訓》に！

国は平成26年1月1日現在、今後30年以内に南海トラフでM8以上の地震が起こる確率を、70%としています。

明日起こるかもしれない災害に備え、阪神・淡路大震災や東日本大震災で明らかになった問題点を解決する方法を考えてみましょう。

◆阪神・淡路大震災での〈問題点〉

- ①「女性」や「妻」が果たすべきだとされる『性別役割分担意識』が、女性たちのストレスになった。
- ②親との「震災同居」などで、「嫁」の立場からくるストレスや、会社優先の夫に対する妻の不信感があつた。
- ③ストレスや居場所の喪失により、夫が妻に暴力をふるうようになった。また男性が生活再建に絶望し、飲酒に溺れてしまった。
- ④不安定な雇用状態の女性に自宅待機が命じられたり、解雇されるなどのしわ寄せが集中した。

◆東日本大震災での〈問題点〉

- ①避難所入所者の食事を女性たちが世話することに、女性から負担が大きいの声があつた。
- ②避難所から仕事に行きたいが、子どもを預かってくれるところがないので困つた。
- ③子どもが避難所で走り回り、肩身の狭い思いをした。
- ④避難所には授乳室がなく、母乳を止めてミルクに切り替えた。また、更衣室・洗濯物干場がなくて苦労した。
- ⑤子どもが夜泣きをして避難所に居づらくなり、車の中でずっと過ごしていた。

《参考文献》

- ◇「母と子の防災・減災ハンドブック」兵庫県立男女共同参画センター発行
- ◇「阪神南版 母と子の防災・減災ハンドブック」イーブン発行
- ◇「女性と防災に関する提言書」豊中市女性と防災を考える会発行
- ◇「兵庫県の地震・津波被害想定(南海トラフ)」兵庫県 HP
- ◇「平成27年度版 男女共同参画白書」内閣府
- ◇「女性のための防災 BOOK」マガジンハウス発行



備える ■ 普段からできること

①防災意識を高める

防災知識の取得、防災に関する学習会などへの参加により、災害時要援護者・男女のニーズの違いなど、男女双方の視点に配慮した防災意識を高めることが必要。

②子どもに防災教育を行う

大規模な災害が起これば、大人が目の前にいる子どもを必ず守れるとは限らない。子どもの成長に沿って、「自分の命は自分で守る」ことを普段の生活の中で教えることが大切。防災絵本、防災カルタ・すごろく、防災紙芝居などを遊びの一つとして楽しみながら学ばせる。

③あらかじめ、落ち合う場所を決めておく

災害が起こった時に避難場所になる学校や集会所などの、どこで落ち合うか、普段から家族で話し合っておく。

保育園や幼稚園・学校に、災害時の体制を確認しておくことも必要。



④備蓄品を準備

数日間ライフラインが止まると予想され、買い物に行けない状況に備えて、3日分程度の備蓄品を準備しておく。南海トラフ巨大地震では、非常に広い地域に被害が及び可能性があるため、「1週間分以上」の備蓄品が望ましいとの指摘もある。

■揺れたらダンゴムシ(赤ちゃんをとっさに守る)

抱き方によっては、腕の中から飛び出してしまふ危険性があります。子どもと向かい合わせになり、保護者のお腹あたりに子どもの頭をおき、保護者は子どものお尻を抱きかかえるように身体を丸めます。

この訓練を遊びに取り入れると、いざというときに、子どもがいやがらずに役に立ちます。

わが家の防災備蓄リスト

備蓄を考える時は、家族の人数や構成に応じて、また次の目的別ごとに分けて用意しましょう。
①防災袋に入れる持ち出し用品
②長期対応するための家用備蓄品
※薬・貴重品等もまとめておく。

【わが家に必要な特別な「備え」をリストアップ！】

一人暮らしで近所に親しい人がいない、家族に介護の必要な高齢者がいる、自分や家族が持病や障がいを持っている、またペットがいるなど、それぞれの家庭によって必要な「備え」は異なります。

あなたやあなたの家族にとって必要な、特別な備えには何があるでしょうか？

物を減らし、家具の配置を見直したり、消費期限の過ぎそうな非常食を日常食として食べてみたりしながら、少しずつでもリストアップしておきましょう。

【乳幼児のための準備備蓄品リスト】

- おむつ・ミルクなど3日分(サイズや賞味期限に注意)(スプーン・ほ乳瓶・乳首や水、消毒剤も一緒に備蓄)
- 子ども用の食料3日分(瓶詰め離乳食、常温で日持ちするもの、レトルト食品)
- ティッシュペーパー、ウェットティッシュ、おしりふき、ベビーソープ
- タオルやガーゼのハンカチ

【妊産婦や母子のための準備備蓄品リスト】

- 母子健康手帳(保険証・診察券・血液検査データ等と一緒に)
- お薬手帳
- 子ども用の薬
- お気に入りのおもちゃ
- おんぶひも
- 生理用品
- 分娩準備品



男女共同参画の視点

災害が起こった時、要援護者といわれる要介護高齢者・障がい者・外国人・乳幼児・妊産婦・ひとり親家庭や高齢の単身者などが孤立し、情報弱者にならないためにも、普段から地域とつながっておくことが必要です。

防災の意識を高め、子どもたちに防災教育をし、年齢や性別ごとに必要な備蓄品を蓄えただけでは、備えはまだ万全ではありません。防災にも『男女共同参画の視点』が必要です。

災害時に出てくる諸問題の原因は、避難所の運営・管理の責任者がほとんど男性で、支援物資や施設管理のハード面に女性の声が届きにくいことと、「男はこうあるべき」「女はこうあるべき」という、性別役割分担意識が払しょくできていないという点が考えられます。

災害は受ける側の状況によって、被害の現われ方が

災害時の連絡171

■「災害用伝言ダイヤル」(171)の使い方

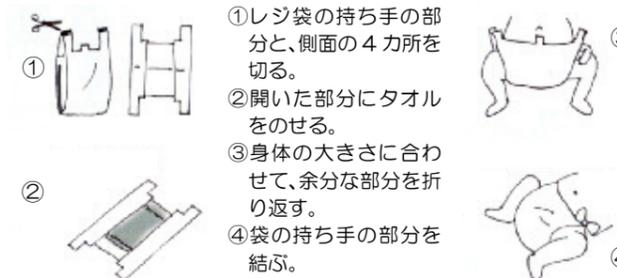
- ①171をダイヤルする。
- ②ガイダンスに従って、
 - 録音するときは①を、
 - 再生するときは②をダイヤルする。
- ③自宅(被災地)の電話番号、または、連絡をとりたい被災者の電話番号を、市外局番からダイヤルする。
- ④伝言を録音・再生することができます。

「災害用伝言ダイヤル」は、基本的に災害時に提供しますが、以下の体験利用日にも運営されています。

- 毎月1日・15日
- 毎年1月1日～3日
- 防災とボランティア週間(1月15日～21日)
- 防災週間(8月30日～9月5日)
※その他、パソコンやスマートフォンを使う《災害用伝言板=web171》もあります。



【簡易おむつ(生理用ナプキン)の作り方】



【女性の必需品】マガジンハウス発行「女性のための防災 BOOK」
●ふえ ●鏡 ●ポーチ ●パンティライナー ●紙ショーツ ●サニタリーショーツ ●生理用品(1周期分) ●ビデ ●化粧水 ●泡立てネット ●洗顔石けん ●リップクリーム ●保湿クリーム など

違ってきます。いつもの生活に男女共同参画の視点がなければ、災害が起こった時はより一層、その偏りが顕著になります。

避難所での問題でもわかるように、女性ばかりでなく、男性にも負担がかかってきます。避難所の運営などに、男女ともに携わり、男性だけでなく、女性・子ども・若者・高齢者・障がい者・外国人・性的マイノリティなど、多様な人々がそれぞれに自分の意見を言うことができる環境と、それを反映させることが大切です。

普段から男女共同参画の視点で生活を見直し、地方自治体や地域の自治会などの防災会議などに女性が参画し、防災の女性リーダーを養成することが、真の防災・減災につながるのではないのでしょうか。

いつ起こるかわからない災害に備えることは、地域の人と人とのつながりを深め、どのような状況の人も尊重されることが当たり前前の社会をつくっていくことです。